



国立奈良工専にて、「命のメッセージ展」を開催した模様です。



被害者、遺族にとり何よりも欠かせない真相究明をするためのマニュアルを、息子のクラスメートたちと作り出しました。募金を集めながら、無料で配布しています。



この冊子をつくるとき、5つのことを心がけました。子供から年配の人まで手にとってみようと思うこと。読んで、自分でもやってみようと思えること。文字を大きくし、カラフルにし、イラストをふんだんに入れています。読んだ人たちが少しでも明るい気持ちになって、希望を持てるようになって欲しいと願いました。



事故撲滅をめざし、国を変える行動を開始する

行動を重ね、次第に気付いたのは、日本の交通事故処理システムの病巣です。被害者をくい止めるには、国の上にいる人たちの意識を変えなければ何も変わらないと目覚め、次なる行動を始めました。運送業者に都合のよいシステムの温存ではなく、人命を守るために厳しい指導を国土交通省に求め、また、情報開示と、死亡事故には刑事裁判の機会を法務省に求め、新たな署名活動を起こしました。この署名活動により、年2回の持続可能な省庁訪問が実現することになりました。



そして、現在月2回集まっては、時代の流れをくむITSについて学習会を開き、自分たちができることは何かを懸命に考え、意見を出し合い、勉強しています。